

日本共産党 松戸市議団ニュース

2024年 3月議会

日本共産党松戸市議会議員団

<連絡先>松戸市役所控室
電話 : (366)7403
FAX : (366)5915

3月議会が閉会しました。

閉会にあたって

3月議会に提案された新年度予算案には、学校体育館へのエアコン設置や東松戸病院から総合医療センターへの無料バスの運行、放課後児童クラブ支援員の処遇改善など、党市議団の提案や市民運動の成果が盛り込まれました。

他方、新拠点ゾーンに「市庁舎の半分を移転」すべく国有地を購入する費用や、国保・介護・後期高齢者医療の保険料を軒並みアップさせるなど、物価高に苦しむ市民生活に追い打ちをかける提案も含まれていました。

党市議団は代表質問・予算特別委員会を通し、市民の暮らし応援の立場で議会に臨みました。以下、議会論戦の一部をご紹介します。

お忙しい中、傍聴にお越しいただいた皆さんに心より感謝いたします。

2023年4月2日

日本共産党松戸市議団

【2024年一般会計予算 特別会計・企業会計予算】

● 女性が多い会計年度任用職員に勤勉手当の支給が始まり、年収増が見込まれますが不十分です。時給1500円と正職員を原則で求めました。

● 情報システム関係では全国標準化のための予算が計上されました。このシステムのもとになる番号制度は国民に番号を振り、自治体が保有する膨大な個人情報情報を国が一体に管理し、企業が活用できるようにするための仕組みであり、認められません。

● 市民参加型防犯カメラでは、画像情報を警察に任意に提供することは問題であり、個人情報保護の観点から提供したDVD返還を求めました。防犯カメラで犯罪は防止できず監視社会につながる防犯カメラの設置には慎重であるべきです。

● 民生費では、特別養護老人ホームの建設が予定の80床も未整備のまま、今後は整備せず、「施設から居室

へ誘導する」という答弁があり、家族へ介護を押し付けることにつながり重大です。また介護人材確保は処遇の改善こそ急務と求めました。

● 100名を超える大規模児童が増えている中、新年度はさらに800名もの学童利用の増加が見込まれ、そのための施設整備費、人員体制強化、支援員の処遇改善が図られましたが、まだ不十分です。もともと低い支援員の処遇のさらなる改善と研修の充実など質の担保と40人1単位の徹底こそ重要と求めました。

● 「子育て日本一」を誇る松戸市の保育は、小規模保育所と幼稚園の預かり保育を中心に進められ、そのための駅前ステーションの増設が予算化されました。保護者はステーションに預け、子どもはそこから幼稚園へ移動、帰りはまたステーションへと保育環境としては疑問です。大人の都合でなく子どもの最善の利益のために保育園は0歳から5歳まで預けられる保育園こそ必要と求めました。

● 生活保護相談室の防犯カメラの運用が2月から始まりました。プライバシー保護の観点からも問題であり、運用停止を求めました。必要なのは寄り添った対応です。党が求めていた「生活保護は権利」が新年度からしおりに明記され、会計年度任用職員も研修に参加する機会が設けられます。

● まちづくり基本構想推進業務では新拠点ゾーンに市役所を移転するための土地取得費用38億円や、市役所移転と一体の区画整理やその他関連経費であるため、移転条例すら可決されていない市役所移転は認めがたく、手続きの適正化を求めました。

● 教育費では私達が求め続けていた、小中高の体育館へのエアコン設置、スクールソーシャルワーカーの増員、給食費の一部補助の継続が実現します。引き続き学校給食の完全無償化を求めていきます。

● 小中学校の一人一台タブレットの貸借料に毎年約2.5億円、効果も不明なタブレットに多額の税金を使うより、まず教員未配置などの解決にこそ予算は執行されるべきと求めました。

● 特別会計では、競輪事業は依存症対策が全く不十分

です。財政への貢献を唯一の存在根拠とする公営ギャンブルですが、財政をギャンブルに頼るべきではありません。一日も早い競輪事業からの撤退を求め反対しました。

● 国保、後期高齢者医療、介護については、すべて保険料が大きく増えます。低所得世帯が多いためこれ以上の負担増は物価高とあいまってさらなる市民生活の困窮につながり、到底納得できるものではありません。国保、後期高齢者医療保険、介護の3つの会計に反対しました。

● 新松戸駅東側の区画整理事業では、当初から地権者の十分な合意を得ていないはず、マンション業者と一体の開発であること、また市民や議会への説明責任も不十分です。区画整理と一連の新松戸駅の快速停車の調査報告は一切示されず、本当に地権者が納得しているのかも全く分からず、住民主体の街づくりとは言えず反対しました。

● 相模台地区土地区画整理事業は市役所移転を前提とした計画であり、公園を大幅に縮小し、山を切り崩し、道路を広げ交通量を1.4倍化するものであり、市の目指すみどりを生かしたウォークアブルなまちづくりにも逆行するため、反対しました。

● 企業会計では病院事業会計に東松戸病院廃止を含む予算であるため反対しました。住民の要望で党も求めていた東松戸病院から総合医療センターへのシャトルバス運行は実現しました。

【議会基本条例等改悪】 今後『陳情』は議会に付託されず、

議会基本条例、議会議規則が改正されました。本改正の最大の問題は、オンライン化に乗じて陳情を議会に付託しない改悪を行う点です。議会運営委員会では「今後陳情は議会に付託しない」ことが共産党以外の賛成多数で決定されました。

請願は紹介議員が必要ですが、必ず議会に付託されます。一方陳情は、松戸市議会では議会基本条例で、「陳情も貴重な市民の声であり請願と同等に扱う」として、議会に付託するかは議会運営委員会にはかつていました。本改正はこの基本理念を大きく後退させ、市民の声を聞く機会を減らすもので反対しましたが、共産党、市民力以外の賛成多数で可決されました。

